

平成 24 年第 20 回教育委員会定例会記録

平成 24 年 12 月 12 日（水）

杉並区教育委員会

教育委員会記録

日 時 平成 24 年 12 月 12 日（水）午後 2 時 00 分～午後 2 時 28 分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 馬場 俊一 委員代理者 田中 奈那子
委員 對馬 初音 委員 折井 麻美子
教育長 井出 隆安

欠席委員（なし）

出席説明員 事務局次長 吉田 順之 学校担当 教育部長 玉山 雅夫
生涯学習スポーツ担当部長 本橋 正敏 中央図書館長 武笠 茂
庶務課長 北風 進 教企企画課長 筒井 鉄也
学務課長 日暮 修通 特別支援課長 末久 秀子
学校支援課長 青木 則昭 学校整備課長 喜多川 和美
生涯学習推進課長 濱 美奈子 スポーツ振興課長 高橋 光明
済美教育センター所長 田中 稔 済美教育センター統括指導主事 飯塚 善行
済美教育センター統括指導主事 出町 桜一郎 中央図書館長 堀川 直美

事務局職員 庶務係長 井上 廣行 法規担当係長 岩田 晃司
担当書記 島崎 和也

傍聴者数 1名

会議に付した事件

(議案)

議案第 87 号 杉並区幼稚園教育職員の管理職手当に関する規則の一部を改正する規則

議案第 88 号 杉並区立学校職員服務規程の一部改正

(報告事項)

- (1) 平成 25 年度学校給食調理業務委託新規実施校について
- (2) 東京芝生大会への参加について
- (3) 小学生名寄自然体験交流事業の実施について
- (4) 2020 年オリンピック・パラリンピック東京招致気運醸成について
- (5) 「杉並区中学校対抗駅伝大会 2012」の実施結果について

目 次

議事録署名委員の指名について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

議案

議案第 87 号 杉並区幼稚園教育職員の管理職手当に関する規則の一部を改正する規則・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4

議案第 88 号 杉並区立学校職員服務規程の一部改正・・・・・・・・・・ 4

報告事項

(1) 平成 25 年度学校給食調理業務委託新規実施校について・・・・・・・・ 5

(2) 東京芝生大会への参加について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

(3) 小学生名寄自然体験交流事業の実施について・・・・・・・・・・ 8

(4) 2020 年オリンピック・パラリンピック東京招致気運醸成について・・ 10

(5) 「杉並区中学校対抗駅伝大会 2012」の実施結果について・・・・・・・・ 12

委員長 ただいまから、平成24年第20回杉並区教育委員会定例会を開催いたします。
本日の議事録署名委員は、折井委員にお願いいたします。

本日の議事日程はご案内のとおり、議案が2件と報告事項が5件となっております。

それでは、早速ですが、議事に入ります。日程第1 議案第87号「杉並区幼稚園教育職員の管理職手当に関する規則の一部を改正する規則」を上程し、審議いたします。庶務課長から説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは、議案第87号につきましてご説明を申し上げます。

幼稚園教育職員の管理職手当の額は、「杉並区幼稚園教育職員の給与に関する条例」第10条によりまして、「その者が属する職務の級における最高の号給の給料月額額の100分の20を超えない範囲内の額とする」と定めてございます。改正の内容につきましては、議案の最後に添付をいたしました資料をご覧くださいと存じます。

特別区人事委員会勧告におきまして、職員の給与が民間従業員の給与を上回っていることから、本年12月7日に同条例の一部が改正されまして、来年1月1日から引き下げ改定後の給料表が適用されることになりました。

このことに伴いまして、再任用職員以外の園長の管理職手当の額が条例の定める範囲を上回ることから、91,400円から91,200円に引き下げるものでございます。

最後に施行期日ですが、平成25年1月1日としてございます。

以上で説明は終わります。議案の朗読は省略をさせていただきます。

委員長 ありがとうございます。ただいま上程いたしました議案のご説明にご質問、ご意見はございませんでしょうか。

よろしいですか。それでは、特にご意見もないようですので、議案第87号は議案どおり可決して異議ありませんでしょうか。

(「異議なし」の声)

異議がございませんので、議案第87号は原案のとおり可決いたしました。

それでは続きまして、日程第2 議案第88号「杉並区立学校職員服務規程の一部改正」を上程し、審議いたします。庶務課長から説明をお願いいたします。

庶務課長 それでは、議案第88号について、ご説明を申し上げます。

幼稚園教育職員の出勤記録につきましては、区の職員と同様に、職員の勤務状

況の管理、旅費の精算等に関する事務を総合的に処理してございます、庶務事務システムにおきまして、出勤管理用 IC カードを端末にかざすことで、出勤記録を管理しているところでございます。

区におきましては、来年 1 月 1 日から職員が退勤する時も同様の操作を行うこととし、規定を改めることとしました。このため、幼稚園教育職員につきましても所要の規定の整備を図る必要があることから、今回の改正をいたします。

改正の内容でございますが、議案の最後に添付致しました新旧対照表をご覧ください。第 7 条第 1 項におきまして、出勤時限までに出勤した時に行う所定の操作を退勤する時においても行わなければならないこと等に改めるものでございます。

最後に施行期日ですが、平成 25 年 1 月 1 日としてございます。

以上で説明を終わります。議案の朗読は省略をさせていただきます。

委員長 はい。ありがとうございました。ただいま上程いたしました議案のご説明にご質問、ご意見等はございますでしょうか。

よろしいですか。では、議案第 88 号は原案どおり可決して異議ありませんか。

(「異議なし」の声)

異議がございませんので、議案第 88 号は原案のとおり可決いたします。

それでは、次に日程第 3 報告事項の聴取を行います。まずはじめに、(1)「平成 25 年度学校給食調理業務委託新規実施校について」の説明を学務課長からお願いいたします。

学務課長 それでは、私の方から平成 25 年度の学校給食調理業務の委託新規実施校につきまして、ご報告させていただきます。

お手元の資料の方をご覧ください。学校給食調理業務につきましては、平成 13 年度から順次、業務の委託化を進めており、現在 67 校中、小学校で 29 校、中学校で 18 校の計 47 校で給食業務の委託を行っているところでございます。

平成 25 年度につきましては、記載の桃井第二小学校、富士見丘小学校の 2 校で、新たに給食調理業務の委託化を進めることとするものでございます。

選定の理由でございますが、平成 12 年度の「杉並区学校給食調理業務運営改善検討会報告」をふまえて、給食調理職員の退職等による欠員の状況や施設の整備状況、栄養士の配置状況等を総合的に勘案して、決定したものでございます。

最後に、今後の予定でございますが、今月下旬には新規委託校の学校関係者への説明を行い、来年1月には保護者説明会を開催する予定としているところでございます。学校関係者、保護者等に十分説明をし、理解を得ながら進めていきたいというふうに考えているところでございます。

平成25年度の学校給食調理業務委託新規実施校については以上でございます。

委員長 はい。ありがとうございます。ただいまのご説明にご質問、ご意見はありませんか。

対馬委員 今、流れの中に説明会の流れがありましたけど、委託業者の決定の時期というのは、いつぐらいですか。

学務課長 はい。今回、教育委員会の方にご報告させていただいた後、決裁をとって決定させていただきたいと思います。

対馬委員 はい、わかりました。

委員長 はい。田中委員。

田中委員 同じこともひとつあったんですけど、あとの19校は随時、毎年、委託にしていく計画なんですか。

学務課長 はい。先ほど申しましたように、これは基本的に現行の直営の給食の調理員の退職不補充という形をまず前提に、そこで職員がいなくなったところについて、順次、委託を進めていくという手順を進めているというところでございます。

委員長 他にはよろしいでしょうか。

(「なし」の声)

よろしいですか。

それでは続きまして、(2)「東京芝生大会への参加について」の説明を学校整備課長からお願いいたします。

学校整備課長 私からは、「東京芝生大会への参加について」ご説明をいたします。

東京都におきましては、公立学校の校庭芝生化を推進しているところでございます。しかしながら近年、校庭芝生化を実施している学校が減少している状況を鑑み、校庭芝生化の先進校である杉並区立和泉小学校で「東京芝生大会」を開催し、東京都教育委員会及び区市町村教育委員会が「すべての児童・生徒に芝生を」をスローガンとした「校庭芝生化東京宣言」を行って、校庭芝生化の機運を高めるイベントを計画しているところでございます。

杉並区におきましては、エコスクール事業の一環として、東京都の補助金を活用し、校庭の芝生化に取り組んでいるところでもございますので、この趣旨に賛同し、「東京芝生大会」に参加することといたしたいと存じます。

大会の概要でございます。日時は平成 25 年 2 月 7 日（木）午後 2 時から午後 3 時 30 分。場所は杉並区立和泉小学校。主催は東京都教育庁、環境局、スポーツ振興局。参加者は東京都教育委員会並びに区市町村教育委員会等でございます。

現在のところ予定されている内容でございますが、「アスリートからのビデオメッセージ：校庭の芝生化を広げよう」、アスリートによる記念講演または記念対談「子どもたちの未来のため」、そして、校庭芝生化東京宣言でございます。

東京都の今後の公立学校芝生化事業でございますが、全ての公立学校を芝生化するため、校庭芝生化東京宣言において、都の補助制度を改めて周知し、校庭・屋上の 100 m²程度の芝生化を推奨していくこととしているところでございます。

次に杉並区の対応でございますが、平成 24 年度のエコスクール事業の見直しにおきましても、校庭・屋上緑化については、引き続き地域・保護者の協力や、施設形態も踏まえて推進することとしています。このため、「校庭芝生化東京宣言」に賛同することとし、東京都が推奨する校庭・屋上の 100 m²の芝生化についても、年度毎の整備計画の中で、可能な限り、積極的に取り組んでいきたいと存じます。

今後の予定でございますが、平成 25 年 1 月に区議会議員へ資料等の配布をし、この大会の案内をしていくとしてございます。私からは以上でございます。

委員長 はい。ありがとうございます。ただいまの説明にご質問、ご意見はありますでしょうか。

對馬委員 芝生化は、緑の芝生は本当にいつもきれいだし、芝生化は私も凄く良いことだとは思いますが、やっぱり維持管理に大変苦勞している学校が多いので、この補助金だけじゃなくて、できれば人的サポートみたいなものも厚くなると良いと思います。例えば、プロの人から教を請う機会を増やすとか、チェックをしていただくとか、そういうようなサポートも充実してくるといいなと思っております。

学校整備課長 今回、東京都がですね、そういった専門家の派遣等も実際行っているところ。実は、先ほど申し上げた杉並区が先進的に取り組んでおりましたので、全ての学校ではありませんが、逆にこちらがお教をできるような立場に

もある学校もございますので、そういったこと。それから、なかなか進まない所については、東京都の専門家の派遣等についても、いろいろ考えていきたいというふうに考えております。

委員長 よろしいですか。他にはございますでしょうか。

私から、1つだけよろしいですか。芝生化を実施する学校が減少している状況というふうに書いてあるんですが、これはやはりそういう状況が多く見られるという感じなのででしょうか。

学校整備課長 東京都はですね、正確に東京都が言っていることを申し上げますと、芝生化を進める学校が止まっているということです。芝生化は一定程度進んできました。ところが東京都内を見ると、非常に積極的に取り組んでいる区・市もある中で、全く一校も芝生化を行っていない自治体も都内にある。そういったところに、ぜひとも一校でも増やして欲しいというのが東京都の考えでございまして、杉並区の小学校の事例も取り上げたいということも含んでいるということでございます、この大会につきましては。

委員長 あの、もう一点、屋上緑化という、そういう方向というのは、どのように考えられていらっしゃるでしょうか。

学校整備課長 緑化、学校の緑化というのは校庭、屋上、それから壁面など、いろいろなやり方があるんですけども、例えば、芝生化はできない学校というのがどうしても物理的にできない学校がございます。そういった場合、どこかで緑を創出したい。その場合には屋上を使って、屋上に芝生がもし張れば、屋上に芝生を張る。あるいは他の緑の植栽を屋上に行うと。それによって、建物の冷却効果であるとか、あるいは環境学習に寄与していくということも進め、可能な限り積極的に行っているところでございます。

委員長 ああそうですか。ありがとうございます。他に、委員の皆さんよろしいでしょうか。

(「なし」の声)

はい。ありがとうございました。

それでは次に、(3)「小学生名寄自然体験交流事業の実施について」の説明を生涯学習推進課長からお願いいたします。

生涯学習推進課長 私からは、「小学生名寄自然体験交流事業の実施について」ご報告いたします。こちらの報告については、9月11日の教育委員会にて、実施

方針のご報告をしておりますが、事業の詳細が決まりましたので、改めてご報告するものです。

1 番、事業名「小学生名寄自然体験交流事業」。こちらは、杉並区の交流都市である名寄市に杉並区次世代育成基金を活用し、児童を派遣して、自然に触れたり、地元の子供たちの交流を行う事業となっております。

2 番、応募状況と抽選結果。区内在住の小学 5・6 年生を対象に、チラシ、「広報すぎなみ 9 月 21 日号」等で参加者を募集した結果、322 名と約 13 倍の応募がございまして、抽選により、こちら国立校を 1 校含んでいます小学校 20 校の 25 名の参加者を決定いたしました。

参加者内訳、及び応募者の内訳は記載の表のとおりとなっております。

3 番、派遣職員。こちら代表团及び引率・事務局は、記載のとおりとなっております。

4 番、これまでの事業の経過と今後の予定、こちら 11 月 6 日、12 月 2 日、12 月 11 日、昨日になりますが、こちらの日程で、結団式、事前学習会、保護者説明会等を終えてございます。12 月 26 日から 28 日の 2 泊 3 日で、名寄の方に体験交流事業として行ってまいります。なお、戻ってまいりまして、来年 2 月 3 日、日曜日になりますが、午後 2 時から学習成果発表会を科学館で実施し、参加児童全員にその体験を発表してもらう予定でございます。なお、学習成果発表会の終了後、事業報告書を発行する予定となっております。

5 番目、現地での行程については記載のとおりとなっております。私からは以上になります。

委員長 はい。ありがとうございます。ただいまのご説明にご質問、ご意見等はありませんでしょうか。

田中委員 すみません。あの、たくさん応募があつて、皆さん関心があつてよかつたのかなとも思うんですけども、抽選により小学校 20 校つてあつたんですけど、小学校は全部の小学校から応募があつたんですか、杉並公立は。

生涯学習推進課長 区立小学校 43 校の小学校すべての児童から応募があつた他に、私立小学校 1 校、国立小学校 2 校の児童から応募がございました。

田中委員 もし、来年またこれが継続される事業としたら、今年、抽選で入った小学校は除外して、また新たな。まあ、応募状況にもよると思うんですけども、そういうことはまだ考えてないですね。

生涯学習推進課長 小学校をというふうには考えてはございませんが。

田中委員 たまたま抽選で、子どもがそういう感じで、20校の小学校ってことですね。

生涯学習推進課長 はい。そうなります。抽選の場合、今年度、行った子どもは、来年度は行けないような形になります。

田中委員 はい。わかりました。

委員長 はい。じゃあ、折井委員どうぞ。

折井委員 真冬の北海道ということで、吹雪等により羽田から、もしくは特に帰りの便なんですけれども、交通事情が悪くて、便の欠航なども考えられると思うんですけれども、そういった場合の対応は、どのようにお考えでしょうか。

生涯学習推進課長 はい。そちらについては、そういった場合に対応できる保険に入っております。費用についてはそちらの方から弁済されるようになっております。あと、こちらの事業については委託をしております。事業者の方に、そういった場合は、ホテルであるとか、あるいは翌日の便などの対応はしてもらうような形で、委託をしております。

折井委員 安全ということですね。

委員長 はい。よろしいですか。

對馬委員 行き、飛ばなかったら、小笠原みたいに、なしですか。

生涯学習推進課長 はい。そうなるかと考えております。

對馬委員 それは、保護者説明会とかでもご了解いただいているということですね。

生涯学習推進課長 はい。お話しさせていただいております。

委員長 はい。他にございますでしょうか。

(「なし」の声)

よろしいですか。はい。ありがとうございました。

それでは次に、(4)「2020年オリンピック・パラリンピック東京招致気運醸成について」の説明をスポーツ振興課長からお願いいたします。

スポーツ振興課長 まず、2020年オリンピック・パラリンピック東京招致の気運醸成についてということでございますが、1つ目は小中学校に横断幕の掲出をお願いしたいと思っております。記載のとおりですね、大きい6メートルぐらいの幕になりますので、内容につきましては、「今、ニッポンにはこの夢の力が必要

だ。」というような文言で、屋上の方などに掲出いただければと考えています。

12月上旬から来年の9月まで。この9月というのが、IOCの東京オリンピックの招致の決定の時期が9月7日ですので、それを見据えてということで、気運を高めるといって考えてございます。

2つ目、メッセージカードについて。お手元にこういったカードがございますが、これを全小中学校の児童、生徒さんにお配りをします。もう既にご案内をしましたが、東京オリンピックのときの絵が、裏側には来年実施されるスポーツ祭東京、東京国体のご案内と、中を開いていただきまして、オリンピックの豆知識等が記載されています。また、その裏面には杉並区ゆかりのトップアスリートからのメッセージを記載しているというもので、こういうものでオリンピックに関心を持っていただいて、あるいは、オリンピックの五輪のマークの由来だとか、オリンピックの成り立ちなんかを勉強いただければと考えてございます。

3つ目、3点ですが、ご案内しております「写真展とトークショー」、それから「冬こそ健康になろうDAY!」というチラシが添付されてございますが、まず最初に、オリンピックの写真展を今週末の15日から28日までの間ですね。2階の区民ギャラリーというところで開かせていただきます。

あわせて、このチラシの裏面になりますが、「夢を駆ける!」というトークショーを15日の午前10時半から正午までの間、庁舎1階ロビーで行います。

車椅子バスケットの方で、引退はしたんですが、4回ほどパラリンピックに出ています。この京谷和幸さんは元Jリーガーで、交通事故によって足の機能を失ったというか、歩行が困難だということでバスケットの方にかわってですね、その夢を実現させようということで、実は『夢を駆ける!』という本を書いています。で、その本が、現在、読書感想画中央コンクールの指定図書ということで、小学生に読んでもらいたい本ということで、ご案内をされているという状況でございます。

それから、もう一点が「冬こそ健康になろうDAY!」ということで、これは来年1月19日(土)、杉並第十小学校の温水プール・体育館を使いまして、柴田亜衣さんによる講演と、いわゆる小中学生のクロール講習というようなことを考えてございます。

こういったことを学校の方にご案内をしたということでございます。以上でございます。

委員長 はい。ありがとうございました。ただいまのご説明にご質問、ご意見等はありませんでしょうか。

對馬委員 この京谷さん、子ども向けに本を出されているということですが、このトークショーに関しては子供が聞くものではなくて、大人が聞くものと認識してよろしいでしょうか。

スポーツ振興課長 大人も子供も。

對馬委員 子どもが聞いてもわかりやすいお話をされるという予定なんですか、そうですね。わかりました。

委員長 他にいかがでしょうか。

(「なし」の声)

よろしいですか。はい。それではありがとうございました。

それでは次に、(5)「『杉並区中学校対抗駅伝大会2012』の実施結果について」の説明をスポーツ振興課長からお願いいたします。

スポーツ振興課長 私からの2つ目でございますが、「杉並区中学校対抗駅伝大会2012」の実施結果ということで、先日9日の日曜日に、済美山運動場を発着、中継点としまして、開催をさせていただきました。委員の皆様には、当日ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。天気も良かったんですが、やはり寒かったということもございますが、無事終了したということで、ほっと一安心でございます。

まず、開催日時はご案内のとおりでございますが、コースですけれども、前回ご説明したような内容で変わりはありません。

参加の選手数ですが、379名を補欠の151名を含んで参加いただきました。競技結果は裏面にご覧のように、女子、高井戸中学校が3連覇、男子、天沼中学校が7連覇というような状況でございました。南相馬市の方からもご参加をいただいております。区間賞につきましては、女子と男子が記載のとおりということでございます。

また、表に戻りまして、競技従事者につきましては、職員、走路員、あるいは区民走路員、競技役員等々入れまして442名。これは速報値でございます。その他、気象条件、あるいはテレビの放送などを記載しているところでございます。私からは以上です。

委員長 はい。ありがとうございました。ただいまのご説明にご質問、ご意見等は

ありませんでしょうか。

對馬委員 すごく楽しい大会だったんですが、ゼッケンの学校名が大きかったような気がするんですけど、前の時は。今回、番号が大きくて、運営管理はその方がやりやすいのかもしれないのですけれども、番号だけで呼ばれると、どこの学校が入ってきたのか、よくわからないんですよ。それで、本人を見ても、ゼッケンの番号しか見えなくて、学校名の方が小さくて、ちょっと一番前で見てたわけではなく、ちょっと遠くから遠慮して見てましたものですから、あまり「どこの学校が走ってるんだろう」というのが見つらなかったのも、ちょっとゼッケンが、もうちょっと学校名が目立つと見やすかったなあというふうに感じました。

スポーツ振興課長 そういうご指摘は会場でもいただきましてですね、今回、ゼッケンにつきましては、J：COM東京さんからの協賛という形でつくらせていただいたので、私どもの方からそういった視点を今度、入れさせていただいて、もう少しわかりやすいような工夫をしてみたいと思います。ありがとうございました。

對馬委員 お願いします。

委員長 他にいかがでしょうか。

じゃあ、私から1点よろしいですか。大変いい天気の中で、南相馬市チームも参加ということで、非常に素晴らしいなというふうに思いました。ただ新しいコースということで、特に、けがとか、そういう部分についての状況というのは、特にはなかったでしょうか。

スポーツ振興課長 河川を、川沿いを走るということで、一部工事をしている箇所もございましたので、狭い箇所、あるいは交錯する危険がある箇所があつて、2箇所ほどそういう危険があるのではないかなという予想があるところがあったんですが、そういう所はですね、走路員とか警察官を重点的に配備させていただいて、無事、けががなく終わりました。

たまたま中継で駆けこんでですね、ちょっと呼吸だとか、脈の乱れというんですか、そういったことで女性の選手が救護室に運ばれたっていうのはありましたけれども、お母さんが一緒についてすぐ。特にお医者さんがどうのこうのっていうことはなかった、すぐ回復したということを知っています。

委員長 なるほど、ありがとうございました。はい、どうぞ。

田中委員 今回、あの青梅の方の中学校は不参加だったんですけども、それは一

応、お声はかけたんですか。

スポーツ振興課長 はい。ご案内はしました。しかし、向こうの事情もありまして、大会というか、学校の運営の関係で、ちょっと難しいということで。

田中委員 そうですか。はい、わかりました。

委員長 はい。他にいかがですか。

もう一点だけいいですか。早稲田大学と日本体育大学の陸上部の方たちが前走含めて来ていただいたんですが、大変これもすばらしいなと思いました。せっかくなので、正しい走り方のフォームとかね、そんなものも、もし見せてもらえると、彼らが走っているのを見ていたら、本当に背筋が伸びて、音がしないで走っているというのが、これは本当に専門家なんだなというのを改めて感じたので、そんな形で、もし機会があれば、そうすると生徒たちも大変勉強になるんじゃないかなというふうに思いました。

ありがとうございました。他によろしいですか。

(「なし」の声)

はい、ではどうもありがとうございました。

以上で、予定されておりました日程は全て終了いたしました。庶務課長、特に何かございますでしょうか。

庶務課長 はい。次回の日程でございます。定例会でございますけれども、本来であれば、第4水曜日、12月26日(水)でございますけれども、先ほど報告ございましたとおり、小学生の名寄の体験授業等、行われてございますので、委員長と協議の結果、次回は年明けになります。1月9日(水)午後2時でございます。よろしくお願いいたします。

委員長 ありがとうございました。それでは、次回は1月9日の午後2時からということで、予定をさせていただきたいと思えます。それでは、本日の委員会を閉会いたします。ご苦労さまでした。ありがとうございました。